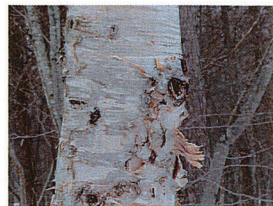


県民の森 植物紹介

⑤9

ダケカンバ (カバノキ科)

漢字では「岳樺」。標高の高い亜高山～高山に生えます。同じカバノキの仲間のシラカンバはもう少し標高の低い山地に生えて寿命約 70 年と短命ですが、ダケカンバは約 250 年と長生きします。シラカンバは白い樹皮が目立ちますが、ダケカンバは樹皮が横向きの紙のように薄く剥がれるので見分けられます。秋には葉が黄色に色付き、陽が差すと黄金色に輝く姿は高山の紅葉の主役のひとつです。園内や七滝登山道下部では、シラカンバ、ウダイカンバ、ダケカンバが混生しているので、比較しながら観ることができます。晩秋、大地獄谷周辺まで登ると、落葉したダケカンバの樹形と常緑針葉樹のアオモリトドマツ、コメツガのコラボレーションに出会えます。岩手の登山者たちが愛してやまない美しい風景です。



樹皮 2022 年 2 月 22 日



若い果穂 2021 年 6 月 18 日



黄葉 2021 年 10 月 12 日



落葉したダケカンバ 2021 年 10 月 25 日